

京都府立医科大学附属病院で食道癌手術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

食道切除術に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、食道切除術に関する研究を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で食道癌手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

食道癌と診断され手術を受けられる患者様の多くは、慢性肺疾患などの併存疾患を有する方が多く、高齢の方も多いのが特徴です。通常、開胸あるいは胸腔鏡による手術が選択される場合が多いのですが、長時間の右肺虚脱を必要とするため、肺機能への負担は大きく、肺炎を中心とした術後合併症の危険性が増加します。もう一つの手術法として非開胸手術があります。この方法を用いれば、肺炎の発症が少なくなる可能性があります。癌の根治手術として十分に証明されるには至っておりません。そこで、癌の低侵襲根治手術としての鏡視下非開胸食道切除術の有効性と安全性についての検討を行います。

研究の方法

・対象となる患者様について

平成12年1月1日から平成25年12月31日までの間に、京都府立医科大学消化器外科で食道癌に対して開胸および胸腔鏡下食道切除術を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

診療録に記載された患者様の術前・術中・術後のデータを調べます。検討する項目は、癌の進行度、手術法、手術成績、術後合併症、生存率などです。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成33年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学消化器外科

消化器外科・准教授 藤原 斉 電話：075-251-5527 (消化器外科医局)